

いつも熊本日日新聞をご愛読いただきありがとうございます

今期の冬が暖冬といわれているように、いつもより
 厳しい寒さがないように感じます。ですが、油断せず
 体調管理に気をつけましょう！同時に、胃腸炎やイン
 フルエンザ予防も十分におこないましょう q(^)p



編集・発行
 熊日多良木販売センター
 球磨郡多良木町大字多良木 356-1
 TEL 42-3355 FAX 49-1726
<http://www.taragi.com/>
 熊日湯前販売センター
 球磨郡湯前町中里 1830 TEL 43-2151
 (代)小出堅太郎 石田敏郎 那須信一
 編集：岩水由香
 球磨んタイムズは当社ホームページでもご覧頂
 けます。また facebook ではコーナーごとに掲載中。
 「熊日多良木販売センター」を検索して下さい。



今年の「年男年女」紹介



多良木町
中村 椿采さん (11歳)
 中学生になったら、バスケットボール部に入部して、ガードのポジションでレギュラーになり、中体連ではあさぎり中等のライバル校に勝って優勝します。勉強では歴史が好きだけど、勉強もスポーツも文武両道で頑張ります。



あさぎり町岡原
唐津 平一さん (83歳)
 「タバコ作りをずっとやってきたので、今年も頑張りたい」とまだまだ現役宣言される唐津さん。また「曾孫が喜ぶから...」と、家の周りに植栽された木を、30年くらい前から昇り竜やトリ、カメなど動物の形に切り揃えておられます。現在新しい型を制作中ですが、4～5年はかかるそうです。ちなみに先日生まれた曾孫さんも、子年の年男だそうです。

昇り竜の形をした庭木



水上村
久保田 洋介さん (35歳)
 週1日休肝日を設けて貯めたお金で、1軒家を建てたいと思います。2月にはデイサービス「やすらぎの郷 樹里」がオープンしますので、久保田自動車と同様、皆様宜しく願い致します。



湯前町
佐々木 凜人さん (11歳)
 将来の夢はまだ決まっていませんが早く目標を決めて頑張りたいです。僕は柔道を習っているので練習を頑張ります。連続で練習を休まずに皆勤賞をもらっているの、今後も続けていきたいです。両親に感謝して今年も良い一年になればと思っています。



今までで一番大きな黄色スズメバチの巣



黒肥地の西 良子さん宅に、昨年の春頃から黄色スズメバチが巣を作り始め縦 80cm 横 50cm の大きな巣になりました。これまでも3、4個他の場所に小さな巣は作っていましたがこんなに大きくなったのは始めてと西さん。道路から見えるのもあり近所でも話題になり、貰って家に飾りたいと相談に来る人が数人いらっしゃるそうです。

くましえん ひな市



球磨支援学校中学部、高等部の作業製品の販売会を下記の日程で行います。販売製品は、和紙のカレンダー、フェルトの雛人形、木工のベンチ、陶器の皿やお椀、農園芸の花苗や寄せ植え等です。どちらの製品も数量限定となっております。ぜひ、お買い求めください。

日時：2月8日 (土)
 9:30 ~ 12:20

場所：本校体育館

球磨支援学校ホームページ
 【QRコード】 →



連絡先：熊本県立球磨支援学校
 担当：田上
 TEL：0966-42-3792
 E-mail：kuma-s@pref.kumamoto.lg.jp
 URL：http://sh.higo.ed.jp/kuma-s/

次のページへどうぞ →

球磨ん文化財巡り NO.55



村指定天然記念物 (昭和 53 年 3 月)

水上村指定天然記念物
白水神社境内にある杉

白水神社社殿の真正面両脇に立っている杉で、左側が樹高約42m、右側が樹高約38mの巨木ですが、樹齢は分かっていません。天に向かって真っ直ぐ伸びた容姿は風格があり、美しく見事なものです。



白水神楽殿

新聞記事を楽しむ!

NO.58

～お茶と椿からつれづれに～

張り替えたばかりの障子に、爪痕でぽっかりと穴を開けた犯人である。また、水温上昇の影響で、三毛のハナが、横に長く寝そべっている。その隣でお茶を一服しながら、正月に生けた壁花入れの一輪の椿を眺め、椿の生い立ちや原産地など思いを馳せた。普段は気づいていないが、正月に使う赤い実の縁起の花木や、農耕儀礼の月見のサトイモやススキなど、生活の節目に四季折々の植物が結び付いている。日本には生活と植物、つまり人は自然の中で生きていることを伝える伝統文化が、今に続いている。そして植物を人類以前の地史の生き証人として、環境の指針として残し続ける義務を感じた。ちなみに夏目漱石は全集に262種類を、万葉集では163種類、源氏物語には111種類の草木が取り上げられている。また、お節料理では、黒豆、栗金団、昆布巻など、持続が可能な伝統的な日本食を再認識させられた。

一方、新聞は「イラン旅客機撃墜、176人全員の死亡事件やオーストラリアの森林火災で数万匹のコアラが焼死し、2016年時点で33万匹が生息していたコアラが、10万匹を切っている。また、水温上昇の影響で、2019年の全国のサンマ水揚げ量が前年比66%減の4万517トンだった」など、犯罪や課題の解決を我々に投げかけているようだ。収益と費用だけ考えた利益至上のビジネスでいいのか。AIの積極的な活用の情報至上だけでいいのか。優しい社会の礎になっているのか。新しい文化やテクノロジーが入ってくることで伝統文化が薄らいでいくことを容認していいのか。「本当にこれでいいのか」と。

東北大学川島隆太教授は「初めてこんなに広範な領域に悪影響が出るものに会いました。子どもたちの記憶の能力自体にマイナスの影響が出ていると予測されます。極端な話ですけれども、法律によって18歳まではスマートフォンを1時間以上使ってはいけないと、強制的におさえあげようが、未来にとっては幸せであろうと考えます。」と指摘している。つれづれな一日だった。

(原稿提供：南稜高校 川北禎一先生)

高等部2年生修学旅行

球磨支援学校高等部2年生は、12月11日(水)から2泊3日で東京方面へ修学旅行に行きました。今回初めて飛行機に乗るといふ生徒もいて、ワクワクドキドキの出発でした。フライト中、雪化粧の富士山が見えたときにはちょっとした歓声が上がりました。



最初の見学地の秋葉原では、班別行動でアニメ関連グッズの店に行ったり、VRや猫カフェに行ったりしました。ある生徒は、有名なYouTuberを見かけたと興奮した様子でした。次の見学地のフジテレビでは、レインボブリッジを見たり、ドラマのセット前で記念写真を撮ったりしました。

2日目のディズニーランドでは、正門をくぐると皆の心は夢の世界!アトラクション、パレード見学、買い物など、大満足な時間を過ごすことができました。平日なのにごった返す人の多さにも驚いた生徒たちでした。

3日目に向かった国会議事堂では、テレビ中継で観たことのある衆議院議場を見学しました。独特の迫力のある風景に圧倒されていました。



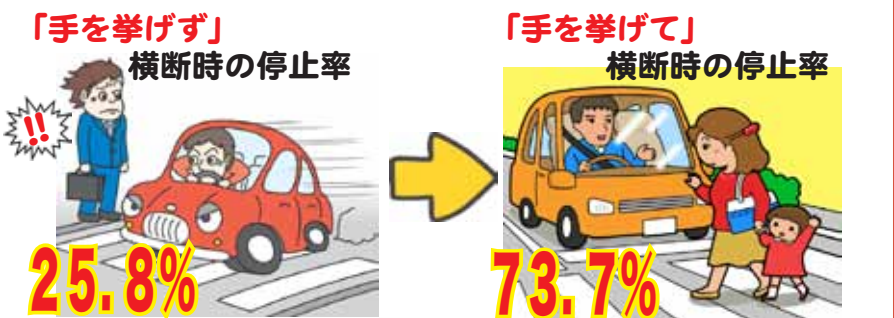
3日間、集団で行動するときのきまりや見学時のマナー等、事前学習で学んだことをしっかりと生かして行動できた生徒達でした。

(原稿・写真提供：球磨支援学校)

多良木警察署だより

横断歩道止まって渡す「思いやり」キャンペーンについて

○横断歩道を横断する際、歩行者が横断歩道の手前で手を挙げると車両の停止率が上がることが判明。
「信号機のない横断歩道」において歩行者が渡ろうとしている場合で一時停止する自動車の実態調査結果(熊本県警調査)



- 横断歩道を渡る際、歩行者は「手を前」に出してドライバーに合図しましょう。
 - 車は、横断歩道に歩行者がある場合、横断歩道の「手前」で停止しましょう。
 - ドライバーは「手を前」に出して歩行者に合図して、安全に横断させましょう。
- (原稿提供：多良木警察署)

暖談なあ ◆令和で初の紙元日号ローカル面トップ記事に、オツと声を上げられた方も多かったことでしょうか。宮崎県小林市と県境を接するこのは、人口100人。「超」が少なく限界集落との表現もオーバーと言えない地域です。◆閉鎖されていた小学校校舎で昨年春から月に2回開かれていたのが「希望いきいき学校」。寝たきりにならぬようにと介護体操をしたり頭の老化を防ぐ意味で音楽や書道を楽しんだり何事もおっくうになり、つい引きこもりがちになってしまつたもの。そんな人を少しでも助けたいと、1人暮らしの方に目配りし、診療所などへの送迎を担当する支援員の存在がキラリと光ります。◆県内ほとんどの自治体が出発する槻木の試み。学校名そのもの、大きい希望と言えますね。(X)